

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施状況及び効果検証報告

IV 新たな時代への変化に対応した環境整備～デジタル環境の構築～

単位：円

担当課	事業名	事業目的	事業実績と成果	総事業費	
					交付金充当額
<b>教育（GIGAスクール構想の推進）</b>					
教育総務課	オンライン教室関連事業	GIGAスクール構想のため教師用のPCの整備及び児童生徒用情報端末等の維持管理に必要な体制整備を実施	学校休業に対応して、家庭学習支援ソフトを購入し、学習機会の保障を行った。	3,849,736	3,846,000
教育総務課	オンライン教室実現に向けた環境整備事業	オンライン教室の実現に向けた環境整備	学校の臨時休業に伴いオンラインでの学習による環境を整備するため、モバイルルーターを購入し、インターネット環境が整っていない家庭に貸し出し、オンライン教室の実現に向けた取組を進めた。	11,488,123	9,810,000
教育総務課	オンライン教室関連事業	GIGAスクール構想のため教師用のPCの整備及び児童生徒用情報端末等の維持管理に必要な体制整備を実施	児童生徒1人1台の情報端末の整備に合わせて、教師用PCを整備するとともに、校内のインターネット環境の維持管理に必要な体制整備（業務委託）を行った。	31,118,780	31,095,000
教育総務課	公立学校情報機器整備費補助金	学校からの遠隔学習に必要な物品を購入	学校からの遠隔学習に必要な物品（Webカメラ）を購入し、学校における環境整備を図った。	699,380	349,000
<b>行政サービスのデジタル化</b>					
障がい福祉課	障害者総合支援事業費補助金	コロナ禍において聴覚障がい者が行政機関や病院への受診等に際して手話通訳者の同行が困難な場合に、手話通訳者との遠隔手話通訳事業を実施	市役所内の各課窓口での手続きや相談などでタブレットを用いた遠隔手話通訳を行える環境を整備し、意思疎通支援の充実を図った。	603,460	150,000
健康課	妊産婦オンライン相談窓口の設置	外出を控える子育て世代を支援するためオンライン相談を実施	Web会議アプリを利用したオンライン相談を実施するため、パソコン等を購入した。これにより、コロナ禍でも相談しやすい環境整備を行うことができた。	137,258	137,000
生涯学習課	生涯学習施設Wi-Fi環境整備事業	生涯学習施設内のWi-Fi環境を整備し、「新しい生活様式」に対応した生涯学習活動の活性化と利用者の利便性の向上を図る	施設内の貸館部分にWi-Fiを整備し運用を開始したことにより、利用用途が広がり、活動の活性化と利便性向上に効果があった。	9,360,260	7,931,000
<b>働き方改革（テレワーク環境の整備）</b>					
ICTイノベーション推進課	持続可能な行政機能構築事業	堅牢・柔軟かつ持続可能な職員体制を許容する情報基盤を構築	在宅勤務時に利用可能なテレワーク環境、会議室等へのディスプレイやスピーカー等を設置しWeb会議が実施できる環境、庁内での無線通信環境を支える仕組みを整備した。これにより、自宅での業務の実現、対面型会議の削減、会議室等自席以外での業務の実現等により、職員のコロナウイルス感染防止を図った。予算時はテレワーク環境を閉域網で構築する予定だったが、地方公共団体情報システム機構の自治体テレワーク推進実証実験に採択されたため、専用のネットワークを構築する必要がなくなった。	13,365,547	13,355,000
ICTイノベーション推進課	変化やリスクに適應する庁内情報流通基盤の整備事業	テレワーク・分散勤務等を円滑に運営するための情報流通基盤を整備	庁内情報流通基盤（グループウェアシステム）の整備を行い、テレワークや分散勤務における情報共有や職員コミュニケーションの効率化を図った。一部業務から、新機能である簡易的な電子決裁機能、調査・アンケート機能、ディスカッション機能等の利用を開始している。	13,740,980	13,730,000
商工観光課	サテライトオフィス等開設支援事業	事業者のサテライトオフィス進出を支えるため支援金を支給	大阪本社の企業2社が、コロナ感染拡大防止の為、市内に新たなサテライトオフィスを設置した。	1,230,000	0